

## 企業概要

- 地元の信州唐松材及び地域材を利用した構造用集成材、耐火集成材等の製造加工販売、難易度の高い木質構造建築物の設計・開発・施工、木造アドバイスを実施
- 構造用集成材を「信州唐松丸」としてブランド化
- 1862年の酒樽製造事業が起源。現8代目まで一貫して木材を取り扱う
- FSC-CoC認証 SGEC-CoC認証取得

企業情報	
企業名	齋藤木材工業株式会社
代表者	齋藤 健 氏
設立年	1957年
資本金	5,000万円
従業員	66名
本社所在地	長野県小県群長和町古町4294番地
事業概要	木材製造・加工、設計・開発・施工等
電話番号	0268-68-3535



代表取締役社長 齋藤氏  
(齋藤木材工業HPより)

## SDGs達成を通じた取組

### 【経緯・背景等】

唐松集成材は販売開始以来、住宅から信州やまびこドームといった大型建築物にも使用されてきた実績があるものの、昨今安価な輸入材との競合により、出荷量、生産量とも減少傾向にあった。元より強みであった国産樹種で最高ランクの強度等級（E105-F300）を誇る材質に加え、地元の木材を利用することが持続可能な森林経営と地域経済の活性化につながるという社会課題の解決を付加価値に乗せ、輸入材との差別化を推進するためにSDGsの取り組みを開始した。

### 【具体的な取組、製品・サービス】

- 「信州唐松丸」をブランド化。カタログ等を製作して販路拡大と認知度の向上に努めている。
- 同ブランド専用の唐松丸ステッカーを作成し、梁、柱に一本ずつ貼って出荷。
- 「信州唐松丸」を活用した新たな事業モデルを開発。信州唐松丸を使用したユニットハウス（産直「唐松丸ハウス」）を開発し、離れや作業場、美容室やカフェなどの小規模店舗、2拠点ライフ用のカントリーハウスとしての受注を目指している。

### 【取り組んだ成果・効果】

- ブランド認知が進み、カタログも評価を得ている。1月に2件、2～3月に6件、信州唐松丸が躯体の住宅を上棟予定。カタログとともに販売パートナー募集チラシも作成し、早速販売パートナー登録あり。
- 唐松丸ステッカーが貼られた木材は、工務店も生産地や材種が一目でわかるため施主に対して説明がしやすく、好評を得ている。
- ユニットハウス第一号を東京で4月施工予定。
- 長野県SDGs推進企業登録制度へ登録。

### 【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- 循環型社会の構築に寄与する木材利用はSDGsにマッチングしており、環境に配慮した社会的な要請に伴う木材の高度利用を促していきます。



唐松丸ステッカー（左）  
ステッカーの貼られた木材（右）  
(同社資料より)



産直「唐松丸ハウス」イメージ図  
(同社資料より)